



# 大会宣言

私たちは、「ものづくりのまち刈谷」から「かけがえのない“わたし”を生きる」をテーマに掲げ、性別だけでなく、年齢、国籍、働き方、障がいの有無などにかかわらず、一人ひとりが大切にされる社会を目指す「みんなの会議」として議論を重ねてきました。

1975年の国際婦人年以降のジェンダー平等社会実現に向けた世界的潮流の中、1984年に名古屋市で第1回日本女性会議が開催されました。2020年、刈谷市での開催となった今日までの間、男女共同参画社会の実現に向けた法整備と施策は着実に進められてきました。しかし、依然として女性の地位、生活を大事にした働き方の実現、人生を支える社会の仕組み、多様性の尊重など、更に前進させるべき課題があります。

これらの課題について、次代を担う若者たちとともに考え、すべての人が「自分ごと」として捉えられるようにしていくことが大切です。

また、新型コロナウイルス感染症をめぐる事態は、ジェンダーに関しても、私たちが生きる社会の弱さを表面化させました。その一方で、新しい生活と仕事のあり方や人のつながり方に気づきを与え、日本女性会議オンライン開催の実現など、新たな挑戦に希望を見出すことができます。

ここに、私たちは宣言します。

- 1 私たちは、一人ひとりが「かけがえのない“わたし”を生きる」ことができる社会の実現に向けて、「それぞれの立ち位置で今、できること」を大切に、あらゆる課題に取り組みます。
- 1 私たちは、長い人生を視野に入れ、「生活と仕事の調和」(ライフ・ワーク・バランス)が実現できる社会を目指し、職場・行政・市民が協働して取り組みます。
- 1 私たちは、ジェンダー平等と人の多様なあり方、考え方が尊重される地域社会の実現に向けて、世代を超えて人々がつながり、語りあうことができる環境をつくります。

ものづくりのまち刈谷からの発信が、大会に参加された皆さまの人生に刻まれること、更に新たなネットワークづくりにつながることを願っています。

令和2年11月14日

日本女性会議2020あいち刈谷